

県計画 標準的記載様式

- 様式 1 及び様式 2 の書式規格は次のとおりとする。
A 4 横書き、明朝体 10.5 ポイント、原則として 43 文字×50 行とする。
ただし、上 25 mm、下 20 mm、左右 25 mm の余白を設ける。
- 記載項目の章、節ごとに様式 1、様式 2 を一対として整理する。

様式 1

第 1 章 保健医療施設の整備【中項目】

第 1 節 2 次 3 次医療の確保【小項目】

【現状と課題】

現 状	課 題
○	○

【今後の方策】

【目標値】

○

(参考図表)

- ←中項目(章)又は小項目(節)で整理すること
←(小項目の場合)
- ←現状分析を簡潔に行い、課題を整理すること。
- ←できるだけ具体的に記載すること。
- ←具体的な数値目標が記載できるものは数値を記載すること。
←5 疾病・5 事業及び在宅医療については、必ず目標値を設定すること。
- ←現状分析に係る必要最小限の図表とすること。

様式 2

○○○対策

○○○対策の体系図

<○○○対策体系図の説明>

-
-
-

【実施されている施策】

-
-
-

用語の解説

- ←施策の体系図を記載すること。(医療提供体制が中心)
- ←体系図に係る簡潔な説明を記載すること。
- ←現行の施策を記載する必要がある場合のみ記載すること。
- ←県民が理解できるよう、専門的、技術的な用語を解説すること。